

「生命のがん教育」を実施しました

(平成29年度1学期分)

平成29年度1学期は15校に出向き、「生命のがん教育」を実施しました。

◆授業形式

- (1) 医療従事者によるがんについての講義 (20分)
- (2) がん経験者のお話 (20分)

◆授業風景



(木津川市立木津川台小学校)



(八幡市立男山第二中学校)



(京都廣学館高校)

◎小学校 (7校)

実施日	実施校	学年	担当講師*
5月13日	亀岡市立詳徳小学校	6年	京都中部総合医療センター 副院長 山岡 延樹
6月23日	木津川市立木津川台小学校	5年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
6月26日	井手町立井手小学校	6年	京都岡本記念病院 副院長 清水 義博
6月29日	精華町立精北小学校	6年	山城総合医療センター 外科 小池 浩志
7月4日	宇治田原町立田原小学校	6年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
7月12日	長岡京市立長法寺小学校	6年	済生会京都府病院 副院長 堀 義幸
7月14日	木津川市立相楽台小学校	6年	医仁会 武田総合病院 副院長 加藤 仁司

<児童の感想>

☆ 「がん」は気づかぬうちになっていて、とても怖いなと思いました。

- ☆ 今まで「がん」はうつる、死んでしまうなどと思っていたけれど、話を聞いていると怖いというよりは、見つけたほうが余計自分に良いことをしていることがわかりました。授業で習った大切なことを、これからまだ怖い、大変だと思っている人に少しでも言ってわからせてあげたいです。
- ☆ もちろん家族や大切な人に、「がん」になってほしくないし、苦しんでほしくないので、絶対に今日の授業で習ったことを話したいと思っています。100%予防出来るということはないけれど、出来るだけのことをして今のように健康な体でずっといたいです。
- ☆ 「がん」という病気は異常な細胞によって起こることがわかりました。また、2人に1人がかかってしまう病気だということもわかりました。「がん」を知ることは未来へ自分をつないでいくための大切な知識だと思いました。

◎中学校（5校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
6月1日	京都市立岡崎中学校	1年	京都市立病院 外科 久保田 恵子
6月13日	京都市立西京高等学校附属中学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
7月4日	精華町立精華中学校	2年	京都府山城南保健所 所長 時田 和彦
7月13日	福知山市立桃映中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 副主査 西田 恵理子
7月14日	八幡市立男山第二中学校	3年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也

<生徒の感想>

- ☆ 今日もらったパンフレット（副読本）をしっかりと読みたいと思います。また家族にも読んでほしいと思いました。
- ☆ 自覚症状が出るのががん細胞が大きくなってからなので、大人になったら自覚症状がなくても定期的に検査などに行きたいです。

◇ 「がん」という病気は本当に重い病気で、最後は死に至るケースが多いけれど、「がん」になっ
たからこそわかった家族の大切さや周りの人の支えを改めて感じました。

◎高等学校（3校）

実施日	実施校	学年	担当講師*
5月29日	京都廣学館高等学校	1年	京都府健康福祉部健康対策課 医務主幹 瀬古 裕也
6月7日	京都府立久美浜高等学校	1年	京都府立医科大学附属病院北部医療センター 消化器内科医長 堅田 和弘
6月27日	京都府立東舞鶴高等学校 浮島分校	1年	京都府中丹東保健所 所長 常盤 和明

<生徒の感想>

- ◇ がん教育は何度かあったが、今回の授業では“がん”についてもっと深く知ることができたし、
おおいに理解できてとても有意義な時間を過ごせたのでよかった。
- ◇ 今までの生活をしっかりと振り返り、課題点を直していけるように頑張りたいと思いました。

※担当講師の所属・役職は授業実施当時のものです。

「生命のがん教育」の実施を検討されている学校は健康対策課がん対策係までご連絡ください。

TEL：075-414-4766 電子メール：kentai@pref.kyoto.lg.jp